味 た

が

す

そ

ഗ

達

成

て

ほ

l

()

で

は

の

達

成

感

成

就

感

を

味

わ

う

٧

校

生

15

ŧ

お

が

白

を

成

せ

ŧ

す

4

徒

 σ

皆

さ

h

す

1

は

在

上

達

IJ

て

き

成

遂

げ

た

時

ഗ

達

信

じ

て

相

談

す

が、

そこ

あ

き

ß

め

る

0)

で

は

な

粘

家

族

ゃ

学

強

<

取

l)

組

む

۲

で

得

意

思

え

た

IJ

校

の

先

生

を

ば

か

IJ

で

最

初

は

う

ŧ

<

で

き

ま

せ

h

で

の

勇

気

を

出

生

に

l)

勉

強

‡,

部

活

動

ŧ

難

l

い

ら

あ

۲

少

L

は

苦

手

な

挑

戦

す

る。

で

す

中

で

す

で

す

か

さ

0)

お

願

を

ま

L

た。

つ 4 苦

手

な

2

に

挑

戦

す

る

生

徒

0

育

成

を

8

ざ

て

長

平

田

新

11

じ

8

を

し

な

(,

新

9

┝

ŧ

申

遅

1

ŧ

た

が

賀

学

校

校

四

名

0)

新

生

を

迎

え

全

校

生

徒

四

+

始

業

式

を

挙

行

す

る

۲

が

で

き

ま

L

た。

十

に

袁

宍

粟

市

立

千

種

中

学

校

学

式

並

び

に

月

日

今

和

六

年

度

第

七

+

八

旦

千

種

学

1

に

ŧ

訪

ħ

春

風

に

桜

の

花

び

が

舞 千

う

四

IJ

少

遅

た

春

が

の

種

の

ゃ

ŧ

す。

前

任

世

良

校

長

同

様

に

指

導

1,

度

ŧ

温

か

11

支

援

協

カ

を

賜

l)

ŧ

す

ょ

う

ょ

ろ

<

お

願

r

ŧ

者

の

4

な

4

ま

地

域

0)

4

な

さ

ŧ

今

年

V

٧

IJ

の

健

ゃ

か

な

成

長

の

た

め

に

保

護

て

転

任

ま

LI

ij

ŧ

L

た平

田

新

۲

申

 σ

鞭

撻

の

ほ

2

ょ

3

お

願

()

しま

て

私

は

学

式

の

式

辞

で

新

入

生

0)

報 校





千種中学校

月号

校

正

<

元

気

本

校

校

訓

正

l

<

強

<

仲

ょ

<

Ž

直

願

1,

ŧ

L

た

4

強

働

き

の

ŧ

۲

本

年

度

ŧ

小

中

学

校

で

統

L

て

掲

げ

て

1,

ま

す

知

を

磨

き

情

に

つ

5

か

11

手 で 重 に ŧ = 社 嫌 ね そ 白 슾 て な 目 欲 思 は は の 出 言 (1 て を ٧ ŧ じ 動 じ さ 願 で め 通 め せ 相 を 用 ょ に ŧ L 手 す う な す が な る ۲ IJ 1, 嫌 丰 思 ŧ な IJ 思 て で ア す を な を < 相 積

学

校

を

創

造

す

る

۲

が

私

た

5

職

員

の

責

務

で

あ

る

۲

白

覚

九

名

の

転

入

職

員

希

望

に

満

ち

た

生 σ

活

ゃ

学 た

習

活

動

が

で

き

る

11

ず

す

べ

て

生

徒

ち

が

夢

を

ŧ

ち

体

を

育

む

۲

(1

う

学

校

教

育

目

標

を

忘

は 大 気 は l *t*-ま が 先 自 な 私 な て そ 今 す l) ß に あ 生 白 分 ほ ۲ の で に が ŧ な な し 身 約 ŧ 時 て ŧ 相 か < 束 の じ た。 小 て 忘 談 な 相 嫌 **‡**, 学 8 た ŧ N *(* \ L 談 7 当 そ な の 五 記 る な ほ 思 時 h 1 絶 て 年 憶 か て の な は た ۲ 対 4 15 解 出 ない 自 た 思 σ の 残 で 決 が き () 分 て 時 す て か て ٧ に 1 を 五 き に き ٧ じ + ŧ 家 を 生 し な () さ て 思 う め ま 後 族 徒 (1 七 じ ß を う 少 ゃ ジ 悔 た 歳 め に N 学 L L の に _t 傷 ち に l ば 勇 校 私 傷 に て な に な あ

学

校

家

庭

地

域

が

体

۲

な

つ

7

取 は

IJ

全

安

ジ

ŧ

含

め

て

子

ど

ŧ

の

育

成

に

٧

思

っ

て

1,

ま

L

か

し

な

が

5

教

育

の

3

な

ĥ

ず

安

本

年

度

ŧ

誠

Š

誠

意

取

IJ

組 名

h

て

()

き

た

۲

٧

ŧ

に

全

膱

員

総

が

か

で

組

む

۲

が

必

要

で

す

ど

う

か

生

徒

人

4月の予定

4月のノー部活デー 16日(火)、24日(水)、30日(火) スクールカウンセラー来校日 15日(月)

15日(月) PTA本部役員会·役員総会

16日(火) 交通安全教室[7年] 17日(水) 部活動紹介

18日(木) 全国学力・学習状況調査[9年] 19日(金) 市春季大会壮行会

PTA授業参観・学年懇談会 20日(土) 市春季大会(~21日)

22日(月) 中高合同職員会 23日(火) 生徒総会

尿検査 24日(水) 耳鼻科検診

園小中高連携一貫教育推進委員会総会・部会 25日(木) 内科検診

27日(土) 西播春季バレーボール大会(~28日) 家庭訪問① 30日(火)

5月のノー部活デー

1日(水) 家庭訪問②

22日(水) 創立記念日 23日(木) 眼科検診

24日(金) 小中高合同田植え[9年]

27日(月) 振替休業日

29日(水) わくわくオーケストラ教室 [7年]

5月の予定

7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)

13日(月) 小中合同茶摘み[8年]

心臓検診[7年] 修学旅行(~17日)[9年] 14日(火) 15日(水)

25日(土) 園小中連携一斉オープンスクール

地域に学ぶトライやるウィーク 28日(火) 事前訪問[8年]

新 職 の 紹

なった卒業生の皆さんに出会えること ることも楽しみですし、今は保護者と いう時間を隔てて再び勤務することが !っ子のパワーをもらいながら、自分!のようには動けませんが、元気な千 できることを精いっぱい頑張ります 楽しみにしています。年齢も重ね、 校生徒の皆さんと国語の授業ができ よろしく なった千種中学校に三十年と 深いものを感じています。 お願いします。 り、 時 代澄 <

お

いたします。

う自 ことが楽しみです。 とをとても嬉しく思います。 とが楽しみです。至らない点もあるな土地で元気な生徒たちと関われるをとても嬉しく思います。自然の豊 ぞよろしくお願 今年度より、千種中学校に着 分の生まれ育った場所で働けるこ 精いっぱい頑張りた いします。 地域の皆 としいま どい 要

ょ

11

ゃ

た吉田 航です。 山 崎南中学校より 着 任 田 し ま 航

やす Iさん が初、め 盛り上げていきたいと思いま か めて千種中学校での 何事も全力で取り組みさらに 校内で会った時には元気などで千種中学校での勤務とな と学べることが い雰囲気で迎えてくれた生 地域の皆様よろし いと思いますの組みさらに中学が嬉しく思いまてくれた生徒のには元気な挨拶 IJ ŧ

す。

こ 二の教職人生が楽しみです。よろし とが だき大変うれしく思っています。第 たた きるのではないかと思い、再度教職 代とはまた違った先生の在り方がで か ではないかと思い、再度教職 一つけた年恰好ですが、今なら現役時 一つ はた年恰好ですが、今なら現役時 1 一石堂と申します。教職に一区切り 切賀

杯頑張ります。よろしくお願いしまとができるように、サポートを精一なさんが充実した学校生活を送るこ ぶりで緊張していますが、生徒のみく思っています。中学校勤務は久し再び過ごすことができることを嬉し きく成長された生徒のみなさんと、 た土居絵理です。小学生の頃 種 小 学校から転任してま いりまし から大 絵

います。 りませる りませい りませい 員も靴かろくゆきてかえれる楽しい変うれしく思っています。生徒も職り、久しぶりに勤務できることを大まで通算八年間勤めさせて頂いておお世話になります。千種中にはこれ り、久しぶりに勤務できるこまで通算八年間勤めさせて頂お世話になります。千種中に ,ますが精一杯頑張りたいと思って,校生活が送れますよう微力ではあれも靴かろくゆきてかえれる楽しい どうぞよろ 不登校 。千種中にはこれ対策支援員として しく お 願 1, L ŧ

変

ますので、よろしくう質、活を送れるように日々努力していき千種中学校の皆さんが快適な学校生ー・系員としてお世話になります。 木 富 初

中学生になって

たいです。どんな時でもチャレンジしてからも頼られるような自分にしていきたまたちのようにかっこよくて他の人ども、そんな不安を乗り越えて、このども、そんな不安を乗り越えて、このく中で、少しの不安もあります。けれ ら逃げたとしても、必ずどこかで取てみるという心と、たとえ嫌なこと きたいと思います。 返すという思いを忘れずに、これ た。また、新しい学校生活を始めて「わくわく」という気持ちを持ちま たくさんの学習や行事に「楽しみ」や 学校生活を楽しく明るく過ごして は 入学するときに、これ からす から りか L る

生になって

で、 でも強くなれるよう、きたえることを なっているからです。また、すぐにくじ 理由はいつもいろんなところでお を通して地域の人と触れ合うことです。 ったからです。二つ目は、千種中の 輩についていくということをしていたの っていくことです。理由は七年生では は、九年生を支えながら七年生を引っ ることがあるので、 次は後輩も引っ張っていきたいと 年生になって頑 頑張ろうと思います。 張りたいことの一つ目 今年のうちに少し 小 畠 世 行事 結 話に 思 先

ことです。八年生では、

七年生の

時よ

できないことを放置するのでは できないことにも挑戦するという

ことを放置することの方が多

いので、

九年生ではこれまでよりも挑戦できる

頑張っていこうと思

、ます。

ができました。しかし、まだできないりかはできないことにも挑戦すること

がはどんなことを† 八年生になってむ どんなことをするの 私 は七年生 か不 不安だったけるのときは最 阿 曽 由

> うに頑張ろうと思います。七年生よりも ろんなことを手伝ったりしてあげ からないことを教えたり、 く入ってきた七年生のみんなに優しくわ どいろんな行事やすることがあって大変 八年生のほうが「トライやる」や 教えてもらいました。だから、 だと思うけ 今 れど、 九年生や卒業生たちに 頑張ろうと思います。 九年生にもい れるよ 勉強 ŧ 優

年 生になって

生にアドバイスできたらいいなと思いができるようになってから、七・八年って言われると思うので、まずは自分 ができるようになってから、七・ハニって言われると思うので、まずは自己 張りたいと思いま 思います。 ます。すぐに動けるようになるために ようになることが必要です。 も、しっかり手を挙げられるように頑思います。いろんな教科の発表の時に 困っている友達を手伝うなどしたいと は、まずは積極的に先生の手伝い はできていないのによく言えるよね」 できない人に口出しされても、「自 くためにはまず、 たいです。七・八年生を引っ張って すぐに動けるようになることを頑 引っ張っていけるようになること もう一つ、九年生で頑 は 年として、七・ハ す。 何事も自分ができる 張りた 理 有 たいこと 由 や、 は、 分